

篠山東中学校ソフトボール部保護者会意見

まず初めに、一度は学校で決定されたことをもう一度再考してもらえたことは、素直にありがたいと思っています。ただ、学校からは、「廃部規定の暫定措置として、部員募集は継続しますが2年後に廃部します」との回答に複雑な思いが残ります。また、部活動のあり方については、「丹波篠山市全体の問題として教育委員会等で検討する」との回答には不安を覚えます。

保護者としては、2年連続で9人を割り込んだことによる廃部規定により、令和2年度より募集しない事は以前より承知していました。ただ、令和元年度の総体において9人(3年1人・2年6人・1年2人)で県大会ベスト4という成績を残したメンバーが8人残ることや新入生の中には日本代表に選出された多紀小児童もいることもあり、篠山東中学校に進学することでソフトボールをあきらめざるおえない状況を何とかしたいとの強い思いや篠山東中学校でソフトボールを続けてほしいという地域の願いを受けて存続を希望するものです。(存続については単独チーム・合同チームにこだわるものではありません)

以前より中学校には実情を説明し相談してきた経緯の中で、教育委員会としては「働き方改革」における部活動従事の問題や生徒の減少に伴う教諭の減少により部活動の安全確保が困難であるとの意見等により、存続は難しいとの回答を得るのがやつの状況でした。

保護者としては、このままではお互いの歩み寄りが難しいとの判断から、苦渋の選択ではありましたが署名を募ることにしました。自治会長をはじめ在校生・卒業生保護者等にお声掛けをさせていただき、結果として3,000人強の署名を持って、市長・教育長に要望することが出来ました。ただ、少なからず学校と保護者との間に溝が出来たように感じてしまったことは残念でなりません。

署名や学校運営協議会など、その方法は良かったのかわかりませんが、これをきっかけに教育委員会も部活動について早急に策を考えてもらえるようになった事は良かったと思っています。このままでは、小規模校において、野球・ソフトボールといった大人数で行う団体スポーツの存続は困難となります。廃部規定の人数について、単独チームにこだわった人数を設定するのではなく、合同チームを視野に入れた人数設定をお願いできないかと思っています。

最後にお願いです。あと2年後に廃部になるソフトボール部や卓球部の受け皿の整備に真剣に向き合ってもらいたいと思います。

意見ではありませんが、要望書を提出させていただいた中で、市長と教育委員会の温度差を感じました。市長は、最初から子供たちのために存続の方策を検討いただき、「地域と一体となって取り組めば」と言ったアドバイスもいただきました。一方、教育委員会は、「規定を変えることは難しい。今後益々生徒が減少する中で、先生も減少するので現在の部活動を維持することは難しい。」等、学校(先生)を守っていくことが優先事項のように感じました。背景には、過酷な時間外勤務によりブラック企業ともいわれる学校の実態もあると思いますので、この部活問題を機に、教員の労働環境を見直すきっかけとしてほしいと思います。やはり、子どもたちに寄り添う教育委員会であってほしいものです。